

第 34 回全国病児保育研究大会 in 金沢の進捗状況

令和 6 年能登半島地震に際し、全国の皆様からお見舞いと様々な形で多大のご支援を頂いていることに対して、石川県民の一人としてお礼申し上げます。

令和 6 年 1 月 1 日夕刻に珠洲沖を震源とする震度 7 の地震が発生しました。メディアで紹介されているとおり能登半島は大きなダメージを受け、特に奥能登の珠洲市輪島市では倒壊家屋も多く、道路が寸断されて復興の目途が全く立たないレベルです。能登半島の地理はわかりにくいかもしれませんが、珠洲市から金沢市までの直線距離が 110 km、道路距離で 140 km という位置関係にあります（伊豆半島と東京の位置関係を想像いただければよいと思います）。また能登半島は山間地が多く、七尾以北の能登地域をつなぐ道路は数本しかありません。この道路が大きな被害を受けたため支援が難しい状態になっているわけです。また和倉温泉も打撃を受けており七尾以北の宿泊施設は限られているため、能登の支援のために全国から集まってこられた方が金沢を拠点としている状況です。

研究大会開催地の金沢でも震度 5 強の揺れがありましたが、一部の地域で建物の被害を認めたのみでした。交通は 1 月 1 日と 2 日は北陸新幹線、北陸本線、高速道路、小松空港も閉鎖になりましたが、その後は通常通りに利用できています。また上記のように市内宿泊施設も再開しており、都市機能はほぼ平常に戻っています。

金沢駅前の開催会場では基幹会場となる石川県立音楽堂は、安全確認作業を終えて、1 月下旬には通常の公演活動を再開し、多くの観客を集めています。また、北陸新幹線の金沢から敦賀への延伸も予定通り 3 月 16 日とすることが JR 西日本から正式に発表されました。

以上の状況を踏まえて検討した結果、7 月 14 日、15 日の両日、金沢市において第 34 回全国病児保育研究大会を現地開催とする事に正式に決定いたしましたので、ここで皆様にお知らせいたします。

石川県の観光では、能登の観光名所であった軍艦島が崩れるなど自然の姿は地震で大きく変わり、和倉温泉をはじめとする施設の損害も大きく、7 月に能登旅行を計画されていた方は残念ながら難しいと思います。しかしながら金沢市内の被害は一部にとどまっています。金沢市内の観光施設では、金沢城公園は一部の石垣が崩れたほか、金沢 21 世紀美術館は地震の影響で現時点では閉館になっています。ただ、多くの施設、兼六園、近江町市場、茶屋街、武家屋敷、忍者寺、石川県立美術館、国立工芸館、等の施設は現時点でも通常通り観光いただけます。（兼六園は安全のため一部立ち入り禁止になっています。）

石川県の病児保育室の職員の中には能登出身で自宅や親族が被害にあわれた方も少なからずいらっしゃいますが、大会の成功を目指して我々実行委員会の活動も計画通り継続しており、現在各プログラムの充実と研究会の運営の具体的な方策に向けて実行委員全員が心を一つにして鋭意、準備を進めています。1 月 14 日にはまだ気持ちが落ち着かない中で昨年からの数回にわたって行っているワークショップの予行を行いました。よりよいワークショップを目指して大会に参加して良かったと提供いただけるようにブラッシュアップしています。

「みつめなおそう、私たちの保育看護 ～病児保育で守りたいもの～」をスローガンに病児保育の基本を押さえるメインプログラムと、毎日の業務をレベルアップするワークショップを準備しています。多くの皆様に金沢へお集まりいただき、病児保育の楽しさを感じていただければ幸いです。

2月13日（火）には告知いたしましたように事前参加登録、一般演題募集を開始する予定です。現地で多くの方に御参加いただくことが何よりも大きな復興の励みとなると信じております。

皆様の御参加を心よりお待ちしております。7月14日、金沢でお会いできますのを楽しみにしております。

第34回全国病児保育研究大会 in 金沢 会頭 横井 透